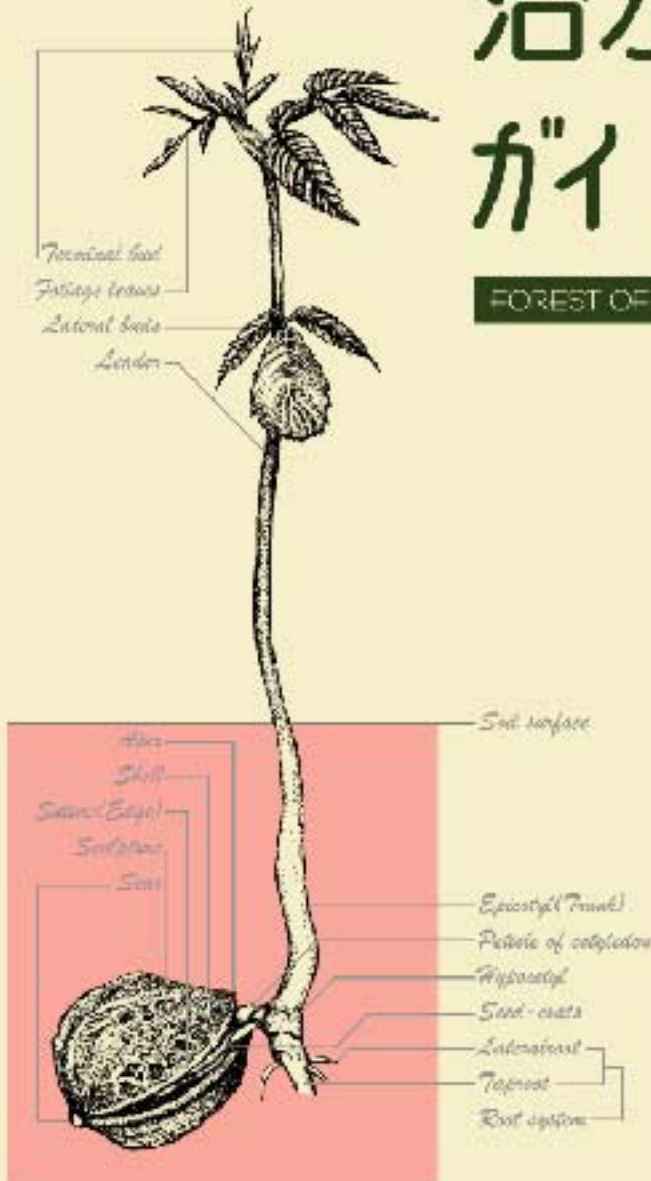


GUIDE BOOK

# 治水の杜 ガイドブック

FOREST OF RIVER CONSERVANCY



「治水の杜」とは、川沿いに木を植える事業のことです。植えられた木は、洪水の勢いを抑えたり、動物たちの通り道として機能します。治水の杜は、自然の中から十勝在来の木の下ネを取ることから始まります。本書では十勝の代表的な樹木36種に対して、下ネの取り方から、苗の作り方までを解説しています。

取った下ネの種類が分からない場合は、6～13Pの検索ページで種類を判別してください。種類がわかったら、それぞれの種類のページの解説を読んでください。

## 解説ページ

### 下ネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
			黄色	赤色		

黄色は下ネが取れる時期  
赤は下ネ取りの最適期

下ネ色の变化

### 下ネの取り頃



このとり頃の色の時がベストです

下ネの色の变化や取り頃の下ネの状態を解説しています。色や乾燥状態等を確認してください。

### 下ネの取り方

拾い取り、つま取りなど、下ネの取り方や必要な道具について解説しています。

## 木の特徴

ここではその木の一般的な特徴について記述しています。下ネだけではなく、高さや葉の形なども解説しているので、種類の判別に参考にしてください。

### 下ネを蒔く

### 軽量級

下ネの重さによって蒔き方が異なるので、軽・中・重量級の蒔き方を59Pで確認してください

下ネはそのまま蒔ける種類もありますが、下処理が必要な種類もあります。ここでは下ネの下処理の方法について解説しています。



注意することや、補足解説が書かれています。必ず確認してください。



■タネとりの準備	1
装備・取り場所・時期	
■タネの検索	5
タネのつき方や形から木の種類を調べよう！	
■樹木別解説	15
集合果実	16
ハリギリ・ケヤマウコギ・ヤマグワ	
分散果実	20
エソノウワミズザクラ・ナナカマド・タラノキ	
ミズキ・キハダ・エソニワトコ	
サクランボ風	26
アズキナシ・エソノコリンゴ・エゾヤマザクラ	
くす玉	30
マユミ・ツリバナ	
ドングリ	32
カシワ・ミズナラ	
クルミ	34
オニグルミ	
はね付き	36
ハルニレ・オヒョウ・イタヤカエデ・カラコギカエデ	
クロビイタヤ・ヤチダモ	
さや入り	42
カツラ・ハシドイ・イヌエンジュ・ミツバウツギ	
綿付き	46
ドロノキ	
かさ付き	48
ハンノキ・ケヤマハンノキ	
棒状	50
サワシバ・シラカンバ	
その他	52
ホザキシモツケ・ノリウツギ・キタコブシ・ホオノキ	
■タネのまき方	57
材料・土の配合・蒔き方・植え替え	



## ■ タネとりの準備 ■

## タネ取りの準備

ここではタネ取りに必要な装備について解説します。難しいことは何もなく、要はタネを入れる袋があれば良いのです。

### 必需品



タネ入れ袋

タネは呼吸します。通気性のある丈夫なものが良いでしょう

つば付き帽子  
タネは上を向いて取ることが多いので、まぶしくないようにするためです

長袖  
枝で肌が切れるので、暑くても長袖をきましよう。

長ズボン  
半ズボンは蚊のえじきになります。



### あれば便利！



ホウキとチリトリ

吹きだまったタネを掃き取るのに便利



手袋

トゲなどに強くケガを防ぎます



ザル  
ゴミや枝葉を取り除くのに便利



脚立

高い場所で両手が使えるので、重宝します

高枝切りバサミ

高い位置のタネ取りに絶大な効果あり。キャッチ機能付きが便利

## タネ取りは場所が大切！

タネを取るには、タネを付けている木を見つけなければなりません。ただ漠然と下を見て探しても、タネを見つけることが出来ないか、タネをたやすく取れるポイントを見逃して、効率の悪いタネ取りになってしまいます。まず、木や林全体を眺めることが大切です。

### タネ取りの順序

- ① タネを付けている木を見つける。またはいろいろな木が生育している林を見つける。  
※ いろいろな木があると、取り頃のタネと出合いやすい
- ② タネの量やタネを付けている枝の高さを見る。  
※ タネの位置が高いとつみ取ることができません。
- ③ 足場や下草を見る。  
※ 足場が悪い場所はキケンです。安全第一！
- ④ タネを数個取ってみて、時期的に取り頃か、タネの質がよいかを判断する。  
※ タネの質や取り頃のチェックはこの本を読もう！
- ⑤ タネを取る



下草がボウボウだと、落ちていたタネを見つけられません。下草が少ない場所ではタネを見つけやすいです。

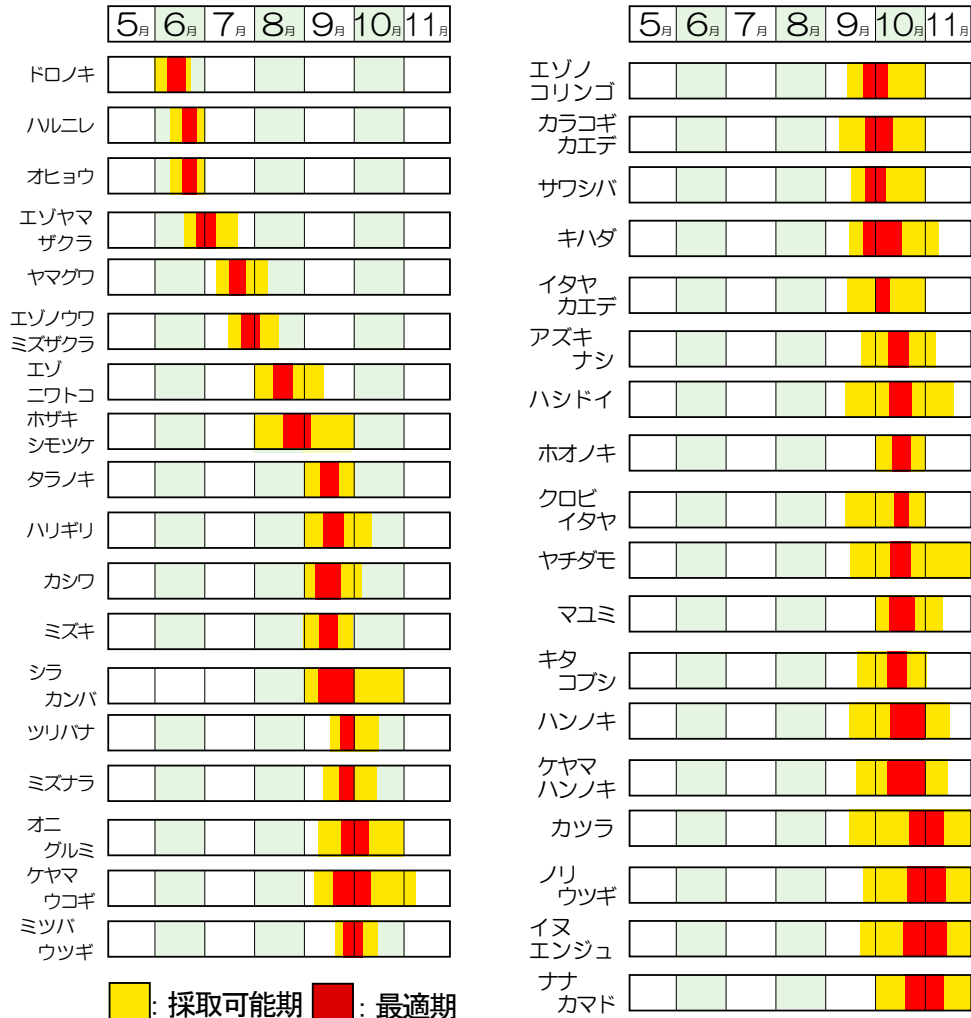
林の縁は枝が低い場所にはっている場合が多いので、つみ取りができます。林の中には低い枝が少ないので、拾い取りをします。





## タネ取りの適期

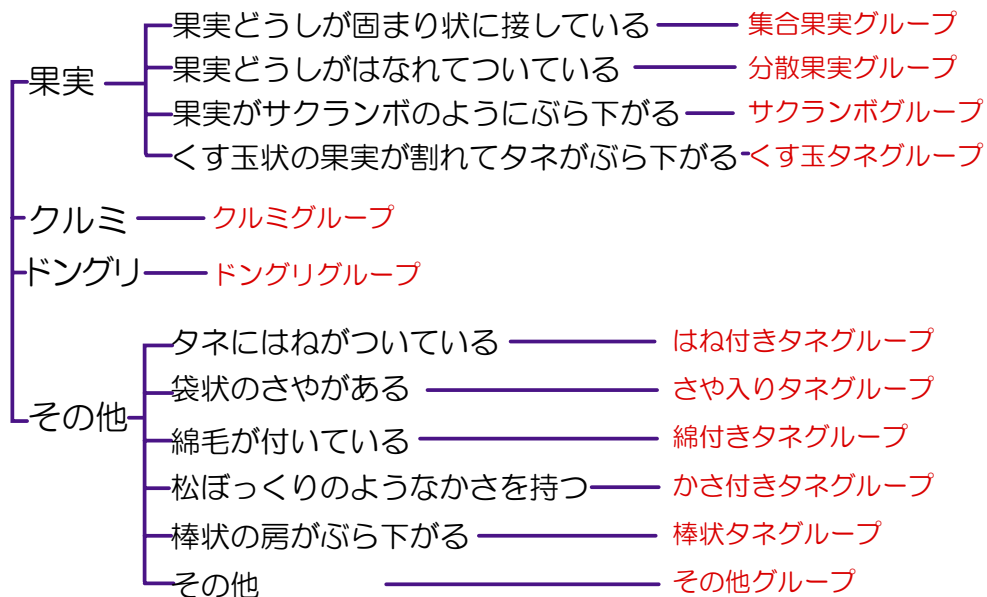
タネの取り頃は、樹木の種類それぞれによって異なります。また、同じ種類でも木によって違う場合もあります。未熟なタネを早取りするのは禁物です。完熟して実の詰まったタネを取るには、適当な時期を見計らってタネ取りに行き、その場でよいタネを選ばなければなりません。



## タネの検索



# タネの検索！



## 集合果実 グループ

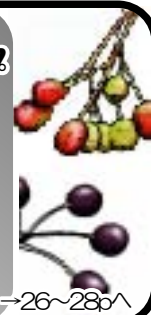
- ハリギリ
- ケヤマウコギ
- ヤマグワ



→16~18pへ

## サクランボ風グループ

- アズキナシ
- エゾノコリンゴ
- エゾヤマザクラ



→26~28pへ

## 分散果実 グループ

- エゾノウワミズザクラ
- ナナカマド
- タラノキ
- ミズキ
- キハダ
- エゾニワトコ



→20~25pへ

## くす玉 グループ

- マユミ
- ツリバナ



→30~31pへ

## ドングリ グループ

- カシワ
- ミズナラ



→32~33pへ

## はね付き グループ

- ハルニレ
- オヒョウ
- イタヤカエデ
- カラコギカエデ
- クロビイタヤ
- ヤチダモ



→36~41pへ

## 綿付き グループ

- ドロノキ  
(ヤナギ類全般)



→46pへ

## 棒 状 グループ

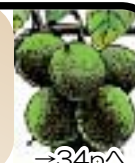
- サワシバ
- シラカンバ



→50~51pへ

## クルミ グループ

- オニグルミ



→34pへ

## さや入り グループ

- カツラ
- ハシドイ
- イヌエンジュ
- ミツバウツギ



→42~45pへ

## かさ付き グループ

- ハンノキ
- ケヤマハンノキ



→48~49pへ

## その他 グループ

- ホザキシモツケ
- ノリウツギ
- キタコブシ
- ホオノキ



→52~55pへ

次ページからグループごとのスケッチの一覧があります。  
スケッチを見ながら、探しているタネの種類をみつてください。



## 集合果実・分散果実のタネグループ

集合果実のタネ



ハリギリ

→16Pへ

集合果実のタネ



ケヤマウコギ

→17Pへ

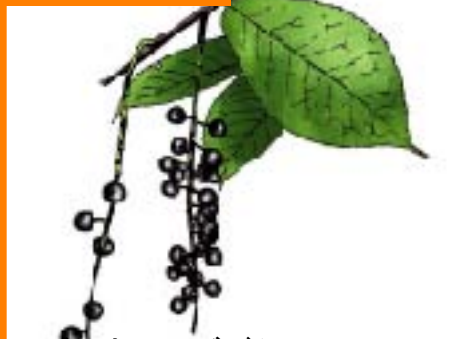
集合果実のタネ



ヤマグワ

→18Pへ

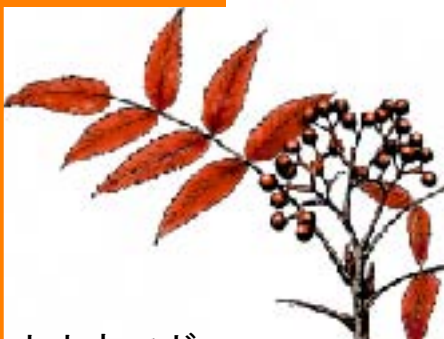
分散果実のタネ



エソノウワミズザクラ

→20Pへ

分散果実のタネ



ナナカマド

→21Pへ

分散果実のタネ



タラノキ

→22Pへ

## 分散果実・サクランボ風のタネグループ

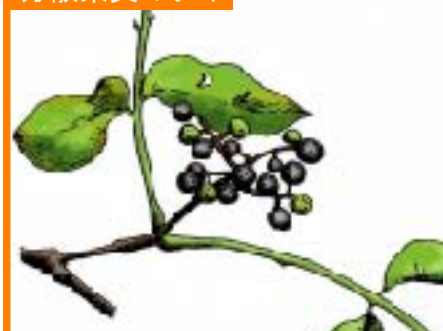
分散果実のタネ



ミズキ

→23Pへ

分散果実のタネ



キハダ

→24Pへ

分散果実のタネ



エゾニワトコ

→25Pへ

サクランボ風のタネ



アズキナシ

→26Pへ

サクランボ風のタネ



エゾノコリンゴ

→27Pへ

サクランボ風のタネ



エゾヤマザクラ

→28Pへ

## くす玉・クルミ・ Donguri・綿付きタネグループ

くす玉タネ



マユミ

→30Pへ

くす玉タネ



ツリバナ

→31Pへ

Donguri



カシワ

→32Pへ

Donguri



ミズナラ

→33Pへ

クルミ



オニグルミ

→34Pへ

綿付きタネ



ド回ノキ

→46Pへ

## はね付きタネグループ

はね付きタネ



ハルニレ

→36Pへ

はね付きタネ



オヒョウ

→37Pへ

はね付きタネ



イタヤカエデ

→38Pへ

はね付きタネ



カラコギカエデ

→39Pへ

はね付きタネ



クロヒイタヤ

→40Pへ

はね付きタネ



ヤチダモ

→41Pへ



## さや入り・かさ入りタネグループ

さや入りのタネ



カツラ

→42Pへ

さや入りのタネ



ハシドイ

→43Pへ

さや入りのタネ



イヌエンシュ

→44Pへ

さや入りのタネ



ミツバウツギ

→45Pへ

かさ入りのタネ



ハンノキ

→48Pへ

かさ入りのタネ



ケヤマハンノキ

→49Pへ

## 棒状・その他タネグループ

棒状のタネ



サワシバ

→50Pへ

棒状のタネ



シラカンバ

→51Pへ

その他のタネ



ホザキシモツケ

→52Pへ

その他のタネ



ノリウツギ

→53Pへ

その他のタネ



キタコブシ

→54Pへ

その他のタネ



ホオノキ

→55Pへ



## 雑樹帳ざっきちよう

### 魔よけの木

アイヌの人びとは病気は悪い風がもってくると信じていました。コタン（集落）で風邪がはやった時には、強い異臭を放つエンジュの小枝を家の戸口やコタンの入り口などに飾ったと言います。においを嫌ってタスンカムイ（病気の神）が逃げ出すのだそうです。また、タラノキのようにトゲのある木を立てることによって悪い風がトゲを避けて通り過ぎて行くことを願いました。

それでも病気になってしまった時には、カムイが与えてくれた山の薬を使いました。

### <かぜぐすり>

#### 植物名

#### 用 途

エンジュ（チクペニ）	細枝にお湯をかけて、その煎じ汁を飲む
エゾノウワミズザクラ（キキンニ）	樹皮を煎じて飲む、枝をヒエのお粥に入れて炊く
ギョウジャニンニク（キト）	焼いて良し煮て良し（全体）
フキノトウ（マカヨ）	ベニバナ、ヤマシャクヤクなどと混ぜて飲む（全体）
フキノ根（コルコニシンリチ）	煎じて飲む（根）
ウド（チマキナ＝かさぶた・草）	生で食べる（全体）
フッキソウ（ユクトパキナ＝シカ・群れ・草）	茎葉を鍋で煮立て、衣類をかぶって湯気にあたる
キハダ（シケレペ＝ぬるぬるした・実）	実を水飴、ザラメ、ハチミツなどで煮詰めて食べる

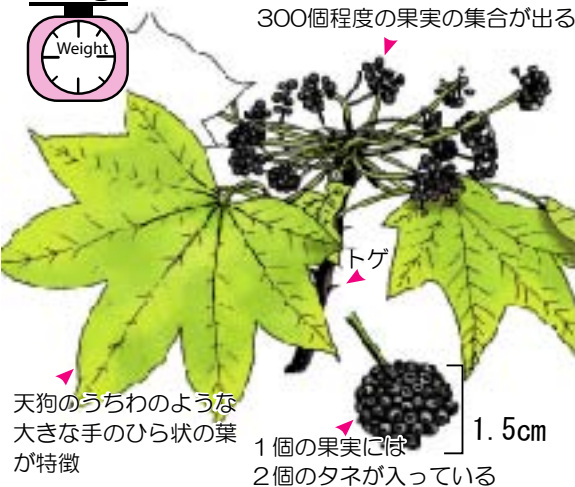


## ■ 樹木別解説 ■

## ■ ハリギリ ウコギ科

集合果実のグループ

3.3mg/1粒



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃



9月には緑色の集合果実が黒く変色してきます。全体が黒くなってきたら取り頃です。9月下旬から一気に落ちるので要注意！

### タネの取り方

低い枝は少ないので、高枝バサミが必要です。枝先の果実が総状についた部分を切り取り落とします。

### 木の特徴

高さ20m以上になる高木です。天狗のうちのわのような大きな葉と、トゲのある枝が特徴です。

### タネを蒔く 中量級

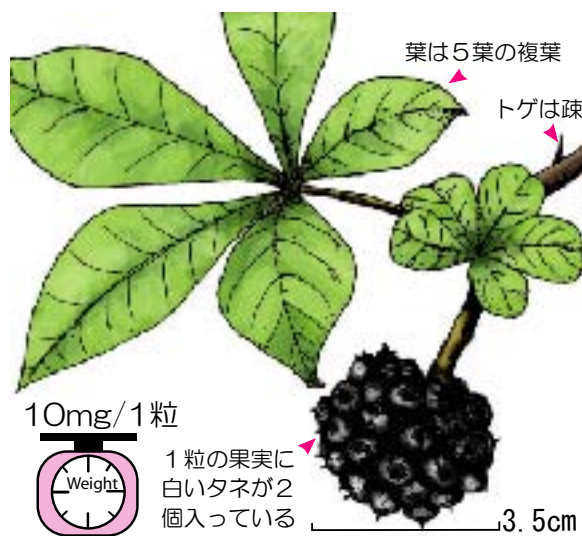
果実の固まりごと木綿袋に入れて、足で踏みつけると、タネが果実から出てきます。あとはザル上で水洗いし、果肉とタネを分けます。発芽まで1～2年要します。発芽率は低いので、多めに蒔きます。



9月中旬以降、タネは比較的早く落ちるので、拾い取りができないような場所では注意が必要です。

## ■ ケヤマウコギ ウコギ科

集合果実のグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃



球状の果実は8月中は緑色ですが、9月に入ると紫や黒になり、果実が柔らかくなります。この時期が取り頃です。

### タネの取り方

低い木なので、道具は不要です。球状の果実の集合ごとにつみ取ることが出来ます。黒くなったものを選んで取って下さい。

### 木の特徴

高さ2m程度の低木です。球状の集合果実はピンポン玉程度の大きさです。林縁よりも林内に多い木です。

### タネを蒔く 中量級

採取した球状の果実を木綿袋に入れて、踏みつけます。ペースト状になった固まりを水の入ったバケツ内でほぐし、水に沈んだ白いタネを蒔きます。

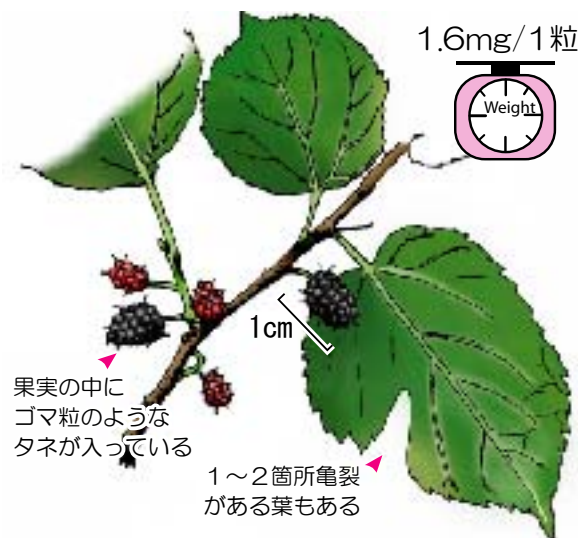


中の白いタネは、踏みつけた位では潰れません。逆に潰れるようなタネは実が詰まっていないタネで、質の悪いタネです。



# ヤマグワ クワ科

集合果実のグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネの取り頃

タネ色の変化

緑 → 赤 → 黒

とり頃

タネは7月上旬には赤い果実がぶら下がっています。7月中旬から下旬にかけて赤から黒に熟した頃が取り頃。

## タネの取り方

最も効率が良いのは、シートを木の下に敷いて、枝を揺らし、シート上に落ちたタネを集める方法です。低い木が多いので、簡単につみ取りもできます。

## 木の特徴

高さ5～10m程度の低木または亜高木です。雌雄異株なので、雌株にのみタネをつけます。そのまま食べてもおいしい果実です。

## タネを蒔く 軽量級

採取した実を木綿の袋に入れて、踏みつぶし、ペースト状にします。タネを完全に分けるのは不可能なので、ペースト状の固まりをほぐす様に蒔きます。



枝を揺する時は、蜂の巣がないことを必ず確認してください。タネは7月下旬～8月上旬に雨風で一気に落ちます。要注意！

# アテンションプリーズ！

## おいしいタネ

## オニグルミ

店で売っているクルミより、堅くて実が少ないですが、実をほじくり出して、そのまま食べたり、パンや餅に混ぜ込んでおいしいタネです。



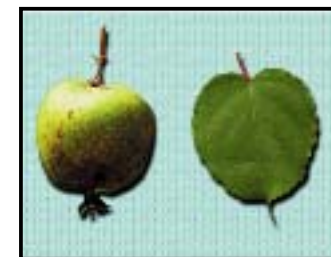
## ヤマグワ



夏真っ盛りの7月下旬に黒く熟します。そのまま食べても甘くおいしい果実です。ハチミツなどに漬けて、ジャムなどにもします。桑実酒の材料にもなります。

## サルナシ（コクワ）

ツル性樹木の果実です。10月上旬から中旬がおいしい時期です。果実の緑色が濃くなり、少し柔らかくなった時期が一番おいしい時です。味はキウイフルーツそっくりですが、キウイより甘みが強いです。日当たりのよい林縁部によく生育しています。



## ヤマブドウ

ツル性樹木の果実です。夏に緑だった実は、9月下旬から藍色に色づき、食べ頃になります。店で売っている様々なブドウよりもすっぱく、実も小さいですが、おいしい果実です。ジュースや果実酒などにも使われます。実がおいしくなる時期には葉も赤くなるので、赤い大きな葉がブドウ狩りの目印になります。



取りすぎ注意！



→エゾアカネズミが食べたクルミ

木のタネは動物たちの重要な食料源です。タネを取りすぎてしまうと、自然の生き物の食料がなくなってしまいます。取りすぎには注意しましょう。

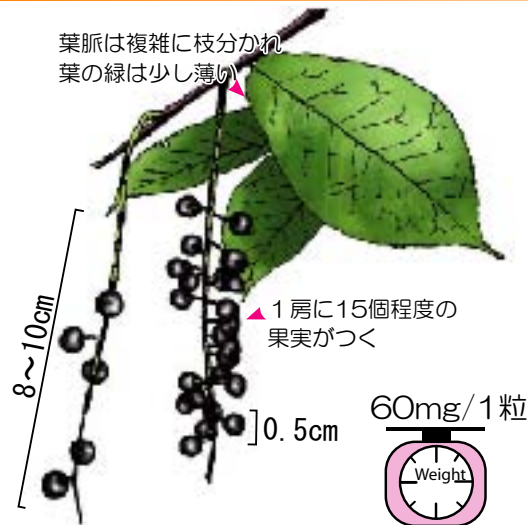
エゾリスが食べたクルミ



ドングリやクルミは、リスやネズミの大好物です。ヤマグワやナナカマドのような果実は鳥が食べます。タネは動物によって運ばれ、糞とともに排出され、その場所で芽生えるのです。

## エゾノウワミズザクラ バラ科

分散果実のグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃



7月になると緑の果実が一房にたくさん付きます。果実は7月下旬に赤から黒に変色します。この時期が取り頃です。

### タネの取り方

しだれた枝に付いた果実を、房の軸をしごきながら取ります。シートを敷いて、枝を揺すってふり落とすこともできます。※蜂の巣がないことを確認！

### 木の特徴

高さ15mになる高木で、やや湿った林縁等に生育します。枝はしだれ、先が地面につくものもあり、タネは取りやすいです。

### タネを蒔く 中量級

軸をしごいて、果実だけにしたら、果実ごと木綿袋に入れて、足で踏みつけタネを取り出します。ペースト状になった果実とタネは、水洗してザル上で擦りタネだけにします。



緑から黒に熟す間に、1房の半数以上は落ちますが、早取りは禁物です。

## ナナカマド ミカン科

ミカン科

分散果実のグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃



果実は8月下旬頃から赤みを帯びてきます。10月には朱色から赤く色づき、果実が柔らかくなった時期が取り頃です。

### タネの取り方

高い場所にタネをつける場合が多いので、高枝バサミで房ごと切り落とします。下草が少ない場所では11月頃拾い取りもできます。

### 木の特徴

高さ10~15m程度の高木または亜高木です。街路樹や庭木に多いですが、自然下では山地に生育します。

### タネを蒔く 中量級

房をしごいて、果実だけにしたら、木綿袋に入れて、足で潰します。ペースト状になったら水洗いして、水に沈んだタネだけを取り出します。



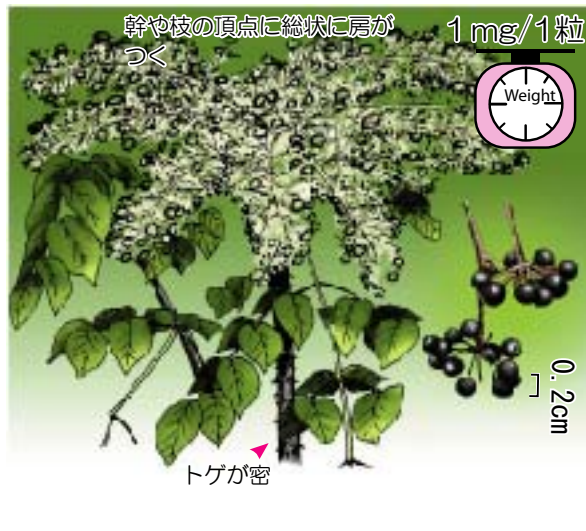
街路樹に多いので、タネは手に入れやすいですが、自然下では、山地に行かないとなかなかありません。植樹する場所が山手なら問題はないですが、平地に植える場合は、たくさん植えないようにする必要があります。



# タラノキ

バラ科

分散果実のグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

## タネの取り頃

タネ色の変化

緑

黒

とり頃

夏に細かいクリーム色の花を付けた後、薄緑の果実を多数付ける。9月に入り、ほとんどの果実が黒く熟すと取り頃。

## タネの取り方

少し高い位置にタネをつけるので、幹をしながら果実をしごき取る。幹や枝にはトゲがあるので、幹にタオルを巻いたり、革手袋を履いたりする。

## 木の特徴

高さ4m程度の低木。春の山菜「タランボ」の木。細い幹で1～3本立ちします。幹や枝にはトゲがあり、その頂点に花と果実をつけます。日当たりのよい林縁や林道沿いに生育します。

## タネを蒔く

軽量級

軸をしごいて、果実だけにしたら、果実ごと木綿袋に入れて、足で踏みつけタネを取り出します。ペースト状になった果実とタネは、水洗してザル上で擦りタネだけにします。

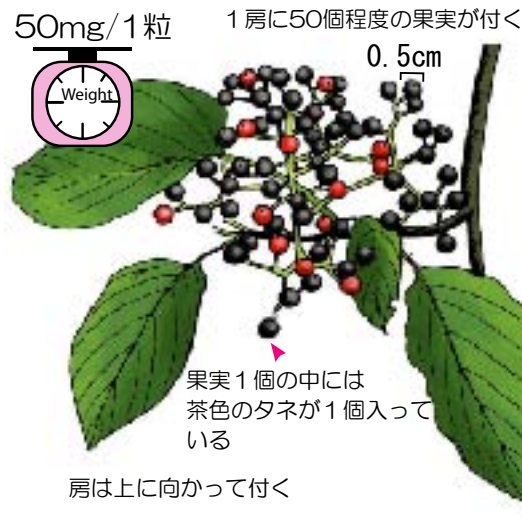


9月中旬をすぎると、果実が一気に落下するので要注意！

# ミズキ

ミズキ科

分散果実のグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

## タネの取り頃

タネ色の変化

緑

赤

黒

とり頃

夏に緑色の堅いタネが1房にたくさんつきます。9月に入ってから、半数くらいが落下し、赤から黒に熟す時期が取り頃です。

## タネの取り方

低くはった枝から房ごとつま取りまします。房ごと落下するので、下草が少ない場所では拾い取りもできます。

## 木の特徴

高さ15～20mになる高木で、葉には強い光沢があります。段丘や山手の斜面やてっぺんに生育します。十勝において自然下では比較的少ない木です。

## タネを蒔く

中量級

房をしごいて、果実だけにしたら、木綿袋に入れて足で踏みつけます。ペースト状になったタネや果実を水洗してタネを取りだし、蒔きます。



9月下旬になると、房ごと一気に落下します。房の中に数個の赤い未熟果実があっても、落下する前につみ取ってしまいましょう。



## キハダ

分散果実のグループ

9mg/1粒



果実を潰すとカンキツ系  
のにおいがする

1房に約40個の  
果実がつく

0.8cm

1つの果実に  
5個程度黒いタネ  
が入っている



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃

緑 → 濃緑 → 黒  
とり頃

果実は9月中旬には緑から濃緑になります。葉が黄色くなり落葉する頃、果実が黒く熟し、しわが出てきたら取れます。

### タネの取り方

低い枝からは房ごとつま取ります。高い場所の果実は高枝バサミでとったり、落下した房を拾い取りしたりします。

### 木の特徴

高さ20m以上になる高木です。樹皮がゴツゴツとしたコルク質で、実を潰すとカンキツ系のにおいがします。

### タネを蒔く 中量級

房をしごいて、果実だけにしたなら、木綿袋に入れて、足で潰します。ペースト状になったら、水洗いして、浮いてくる果実や空洞のタネを取り除きます。



タネが熟す時期は、木によって半月から1ヶ月の差があります。果実中の黒いタネは、空洞なものもあります。取る前に数個潰してみましょう。

## エゾニワトコ

スイカズラ科

分散果実のグループ

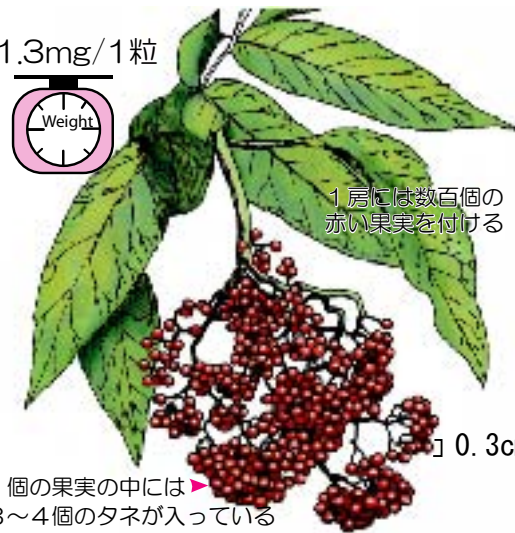
1.3mg/1粒



1房には数百個の  
赤い果実を付ける

0.3cm

1個の果実の中には  
3〜4個のタネが入っている



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃

緑 → 赤  
とり頃

7月に緑色だった果実は8月に入ると赤く熟します。1房の果実がすべて赤くなる頃が取り頃です。赤い果実にしわがよって黒っぽくなり、乾燥し始めてきた9月頃は、少量ですが良質なタネがとれます。

### タネの取り方

低い木なので道具は不要です。赤い果実を房ごとつま取ります。

### 木の特徴

高さ3〜5m程度の低木です。5月にクリーム色の細かい花を付けます。

### タネを蒔く 中量級

房の柄をしごいて、ある程度果実だけにしたなら、木綿袋に入れて踏みます。ペースト状になったタネを、ほぐすように箱に蒔きます。



果実もタネも細かいので、タネだけきれいに取り出すのは不可能です。ある程度果実を取り除いたら蒔いて結構です。



# ■ アズキナシ バラ科

サクランボ風グループ

17mg/1粒



1個の果実には  
2個のタネが入っている

1cm

## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



とり頃

早い時期には緑色の小さな果実が落ちますが、このような果実は無視。10月頃赤く柔らかい果実になった時が取り頃です。

## タネの取り方

林縁部の低い枝についた果実をつみ取ります。脚立を使うとたくさん取れます。下草が少ない場所では拾い取りもできます。

## 木の特徴

高さ10~15m以上になる高木または亜高木です。果実が細長く小豆型をしています。

## タネを蒔く 中量級

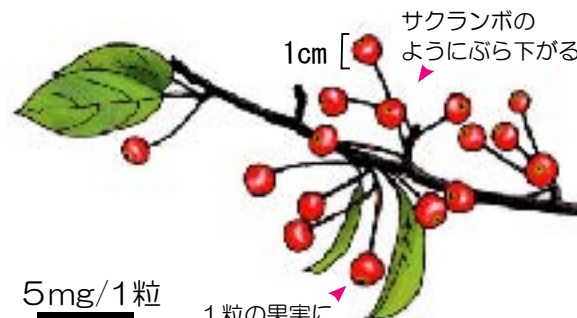
果実ごと木綿袋に入れて、足で踏みつけると、タネが果実から出てきます。あとはザル上で水洗いし、果肉とタネを分けます。水の中で沈むタネだけを使います。



たくさん取る前に数個の果実を潰して、中に堅いタネが入っているか確認してください。

# ■ エゾノヨリシゴ バラ科

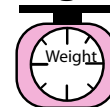
サクランボ風グループ



1cm

サクランボの  
ようにぶら下がる

5mg/1粒



1粒の果実に  
白いタネが2~3  
個入っている



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



とり頃

夏では緑色の小さな果実ですが、9月に入ると赤く熟してきます。果実が手で潰れるくらい柔らかくなったら取り頃です。

## タネの取り方

低くはった枝から果実ごとつまみ取ります。脚立があればより多く取ることができます。

## 木の特徴

高さ10m程度の亜高木です。林縁や林内に生育します。

## タネを蒔く 中量級

果実をつけたまま、木綿の袋にいれて、足で踏みます。ペースト状になったタネと果実を水の入ったバケツ内でほぐし、沈んだタネだけを取り出します。

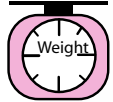


袋で潰してグチャグチャにした後は、一度水を入れたバケツに入れて、浮いた果実やへたを大まかに取り除きます。それからタネが落ちるか残るかする網目のザルで擦り、タネを分けます。完全に分けるのは困難です。ほどほどで良しとしましょう。

# ■ エゾヤマザクラ バラ科

サクランボ風グループ

0.1g/1粒



1つの果実の中に  
1粒のタネが入っ  
ている



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



5月上旬の開花後、黄色い小さな果実が付き、6月には赤から黒に熟します。果実が黒になったら取り頃です。

## タネの取り方

低くはった枝の果実をつみ取ります。下草が少ない場所では、掃き取りや拾い取りもできます。

## 木の特徴

高さ15~20mの高木です。街路樹に多いですが、自然下では段丘や山手の斜面に生育します。

## タネを蒔く 中量級

果実ごと木綿の袋に入れて、足で踏みます。ペースト状になった果実とタネを水の入ったバケツ内でもみほぐし、沈んだタネだけを使います。



果実のタネは、放っておくとカビが生えたり、乾燥して果実が取れにくくなるので、取ったら早めに蒔きましょう。

# アテンションプリーズ!

よく見ると違うぞ!?

## イヌエンジュとハリエンジュ

(ハリエンジュの別名はニセアカシア)



イヌエンジュ  
葉先が少し細くなる



ハリエンジュ  
葉先が丸い。

イヌエンジュ→  
さやの先がとが  
っていて、タネは厚  
みがある



ハリエンジュ→  
さやの先が丸く、  
タネはへん平



※ ハリエンジュは  
外来種なので、治水  
の杜では使いません。

## ミズナラとカシワ

ミズナラとカシワは、同じ場所にあることが多く、落ちているタネは帽子が取れている場合があるので、ちゃんと見分け方を覚えましょう。ミズナラの先端は短く開いていて、カシワの先端は短い柄があり、とがっている場合が多いです。



ミズナラ

カシワ



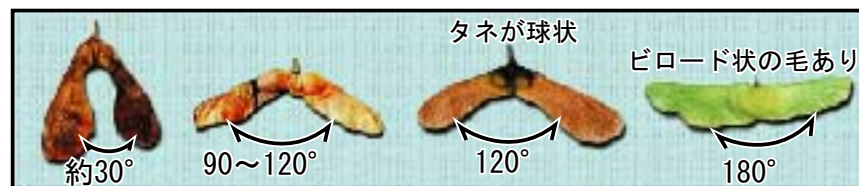
ハナンキ ケヤマハナンキ

## ハナンキとケヤマハナンキ

ハナンキとケヤマハナンキのタネは肉眼で見分けるのが困難です。この2種は葉で見分けましょう。ハナンキは葉が細長く、ケヤマハナンキは丸みのある葉です。またケヤマハナンキは葉の裏に毛があります。

## カエデのなかま

カエデ類は、手のひら状の葉とはね付きのタネが特徴です。タネは2つ1組になっていますが、1組みのはねの開き具合である程度分かります。



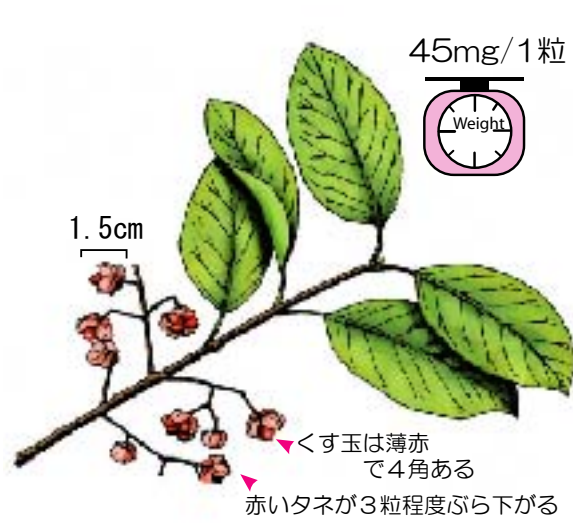
左から、カラコギカエデ、イタヤカエデ、ヤマモミジ、クロビイタヤ



# マユミ

ニシキギ科

くす玉タネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



くす玉が白っぽい時期はまだ早いのので、赤く色づいてくす玉が割れた時期が取り頃です。11月でも少量ならば取れます。

## タネの取り方

枝を引き寄せて、くす玉ごとつまみ取ります。くす玉の開いたものを取ります。少し高い位置は脚立で取れます。

## 木の特徴

高さ5mの低木で、林縁部や林内に生育します。林縁部のマユミは、下枝にタネを付けるので取りやすいです。

## タネを蒔く

中量級

赤いくす玉ごと、木綿の袋に入れて足で踏みつぶします。くす玉と薄皮が取れたら、バケツの中でもみ洗いして、沈んだ白いタネを使います。



くす玉に小さな穴が開いて、虫食いの場合があります。虫食いのタネは他のタネに移るので、取らないようにしましょう。

# ツリバナ

ニシキギ科

くす玉タネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



花がくす玉になって、1cm位になると目立ち始めます。くす玉が5裂して、朱色のタネがぶら下がると取り頃です。

## タネの取り方

低い木なので、ぶら下がったタネをそのままつまみ取れます。開いたタネをくす玉ごととります。

## 木の特徴

高さ3m程度の低木です。1~2mの木でもタネを付けます。平地では少なく、山手の方に多い木です。

## タネを蒔く

中量級

タネはくす玉ごと木綿の袋に入れて、何度も踏みねじります。袋から出したものを、水の入ったバケツに入れて、手でほぐし、沈んだタネをザルですくって使います。



朱色の薄皮の中は白いタネです。ザルで擦ってくす玉とタネを分けてから、袋に入れて踏んでも良いです。

# ■ カシワ

ブナ科

ドングリグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃

薄緑 → 薄茶  
とり頃

タネは8月下旬から落ち始め、9月中旬が落ちるピークです。おうど色や茶色になった大きいタネが落ちる時期がベスト。

## タネの取り方

カシワの木の下、草が少ない場所で、拾い取りするのが最も良い取り方です。

## 木の特徴

高さ20mになる高木です。段丘のてっぺんや斜面に多く生育しています。ドングリは、帽子がささくれ、ミズナラよりも丸っぽく、芽が出る先端がとがっているのが特徴です。

## タネを蒔く

**重量級**

一晩水につけておき、浮いてきたタネを取り除き、ポットに直接5粒ずつまきます。良いタネの見分け方は35P参照。



ドングリを拾う時は、拾うごとに指で強く潰してみましょう。ピクともしないのが良いタネです。少しへこむタネは捨てましょう。

# ■ ミズナラ

ブナ科

ドングリグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃

緑 → 焦茶  
とり頃

9月上旬頃からタネが落ちはじめ、9月中～下旬にピークを迎えます。焦げ茶色のタネがたくさん落ちる時期がベスト。

## タネの取り方

拾い取りが最も効率が高く、質の良いタネが取れます。草丈の低い場所や道際のミズナラの下が拾いやすい場所です。

## 木の特徴

高さ20m以上になる高木です。カシワに似ていますが、葉は少し小さく、ギザギザが比較的鋭くなります。段丘の斜面などに多く生育します。

## タネを蒔く

**重量級**

タネは取ったらその日の内に、水をはったバケツに1晩漬けましょう。浮いてきた悪いタネは取り除き、直接ポットに5粒ずつまきます。良いタネの見分け方は35P参照。



取ったタネを何日も置いておくのは良くありません。乾燥したり、虫にやられたりすると、発芽しくくなります。



# オニグルミ クルミ科 クルミグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



7月下旬には大きめのクルミがぶら下がってますが、緑の実に黒い斑点がポツポツ出たら、取ってください。

## タネの取り方

9月中は木にぶら下がったタネを、高枝切りバサミで房ごと取ります。10月以降はほとんど落ちてしまうので、黒い実を拾い取りします。

## 木の特徴

高さ15m程度の高木です。林縁にも林内にも生育します。葉の色は少し薄い緑で、大きめの複葉なので、他の木と並んでいると目立ちます。

## タネを蒔く

## 重量級

緑や黒の果実を水洗いして取り除きます。薄茶色のクルミにしたら、ポットに2〜3個植えます。



下草がボウボウの場所は、落ちていても見つけれません。草丈が低い場所で拾い取りして、草丈が高い場所では、9月中に高枝切りバサミで取りましょう。

# アテンションプリーズ！



※クリやトチノキは庭木や街路樹にありますが、十勝に元々あった木ではありません。このようなタネは治水の杜事業には使いません。



十勝のドングリはミズナラとカシワの木のタネです。帽子がささくれて、先端がとがっていることが、ミズナラにはないカシワの特徴です。



## 良いドングリは？

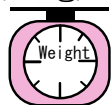
- 大きい
- 堅い
- 虫食いが無い
- つやがいい
- 帽子がとれてる



# ハルニレ ニシ科

はね付きタネのグループ

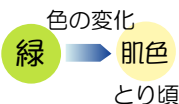
4.2mg/1粒



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

## タネの取り頃



6月上旬の緑色をしていて、水々しいうちは取ってはいけません。肌色になってはねが乾燥してきたらとり頃です。

## タネの取り方

枝に付いたタネを直接つま取ります。アスファルト上にふきだまった場所では、ほうきで掃き取れば大漁まちがいなし！

## 木の特徴

ハルニレは、高さ20m以上になる高木で、少し湿った場所に生育しています。樹皮は縦に不規則にさけています。夏には裂け目から樹液が出て、クワガタがよってきます。

## タネを蒔く 中量級

取ったタネはゴミや小枝を取り除いて、そのまま蒔けます。ザルなどで擦って、はねを砕けば、1箱にたくさん蒔けます。

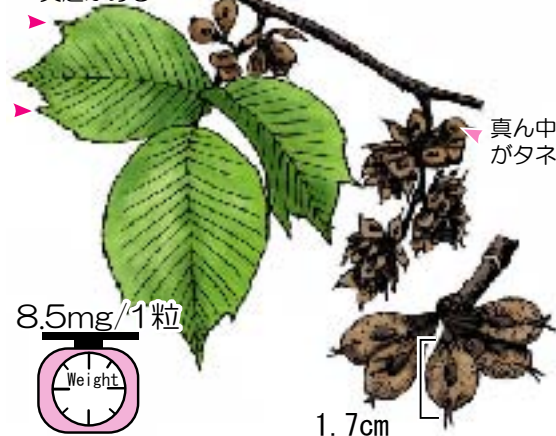


はねの真ん中に入っているタネが指で押したらつぶれるようなタネは発芽しません

# オヒョウ ニシ科

はね付きタネのグループ

葉はハルニレに似ているが先端の両脇に角のような突起がある



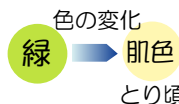
8.5mg/1粒



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

## タネの取り頃



6月上旬はまだタネが緑色なので、6月中旬～下旬になって、肌色になって乾燥してきたら取り時です。

## タネの取り方

枝に付いたタネを直接つま取ります。高い場所にあるタネは、高枝切りバサミでタネの付いた枝を切り落とします。

## 木の特徴

オヒョウは、高さ20m以上になる高木で、少し湿った場所に生育しています。少し山手に入らなければなりません。ハルニレそっくりですが、葉の先端の突起が多いことで区別します。

## タネを蒔く 中量級

取ったタネはゴミや小枝を取り除いて、そのまま蒔けます。ザルなどで擦って、はねを砕けば、1箱にたくさん蒔けます。

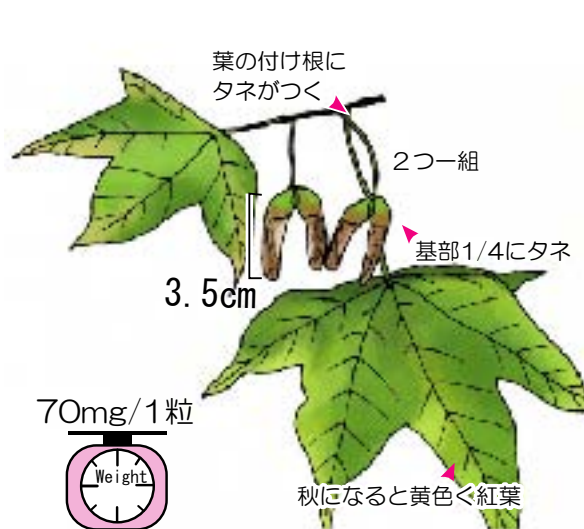


はねの真ん中に入っているタネが指で押したらつぶれるようなタネは発芽しません



## ■ イタヤカエデ カエデ科

はね付きタネのグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

タネの取り頃 緑 → 黄色 → 茶色  
とり頃

タネ全体が緑色をしている内はまだ早くて、黄色から部分的に茶色に変色し、乾燥してきた時が取り頃です。

### タネの取り方

枝に付いたタネを直接つま取りまします。高い枝は高枝切りバサミで、付け根を切り落とします。落ちたタネは拾い取りまします。



はねの基部にあるタネが詰まっていることを確認してください。ペタンコなタネは、発芽率が悪いのでふくらんだタネを使って下さい。

### 木の特徴

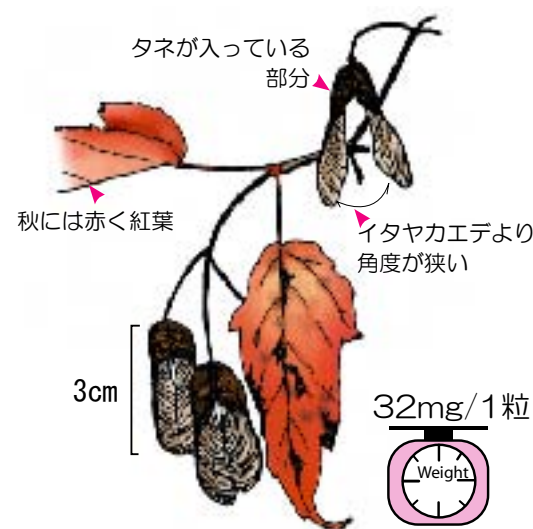
高さ20mになる高木で、段丘斜面や法尻に生育します。プロペラのように回転しながら、タネが落ちます。

### タネを蒔く 中量級

取ったタネはそのまま蒔けます。翌春に芽生えますが、2年かかる場合もあります。

## ■ カラヨギカエデ カエデ科

はね付きタネのグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

タネの取り頃 緑 → 桃色 → 茶色  
とり頃

6月には緑色をしたタネがつきはじめ、夏には部分的にピンク色になります。9月下旬の茶色く乾燥した時期がベストです。

### タネの取り方

低い木なので、道具は特に必要としません。そのままつま取れます。枝の内側にたくさん付いてます。

### 木の特徴

高さ5～6m程度の低木です。林の縁に多い木です。葉は他のカエデと比べて縦長で光沢があります。秋には赤く紅葉します。

### タネを蒔く 中量級

取ったタネはそのまま蒔けます。ほとんどのタネが翌年春には発芽します。羽の基部にちゃんとタネが入っていることを確認してください。

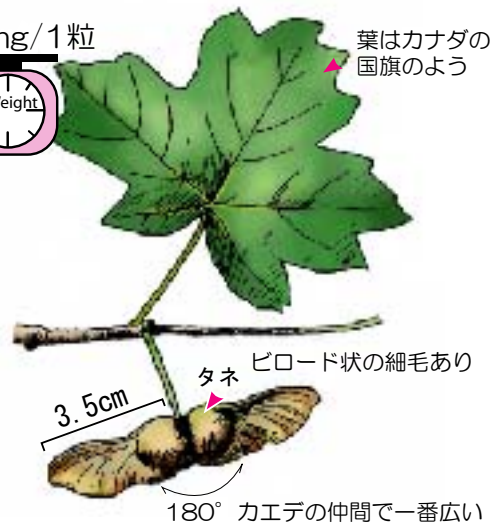


6～7月にはタネが目立ってきます。つい取りたくなりますが、この時期の緑やピンクのタネは、成熟していないので、良くありません。

## クロビイタヤ カエデ科

はね付きタネのグループ

70mg/1粒



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の变化

タネの取り頃 緑 → 黄色 → 茶色

夏には緑色のタネは大きくなっています。緑色でも実は詰まっていますが、はねが黄色から茶色になってから取りましょう。

### タネの取り方

低い枝についたタネを引き寄せて、つまみ取ります。高い場所のタネは脚立や高枝切りバサミで取ります。

### 木の特徴

高さ15mになる高木です。葉はカナダの国旗のような切れ込みが入ります。幹は不規則に縦横に裂けます。タネは1組みが180°開き、細毛が生えています。貴重種です。

### タネを蒔く 中量級

取ったタネはそのまま蒔けます。1～2年で発芽します。

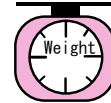


タネは半分黄色、半分茶色くらいになってから取れます。比較的長く枝についているので、10月下旬までは大丈夫です。

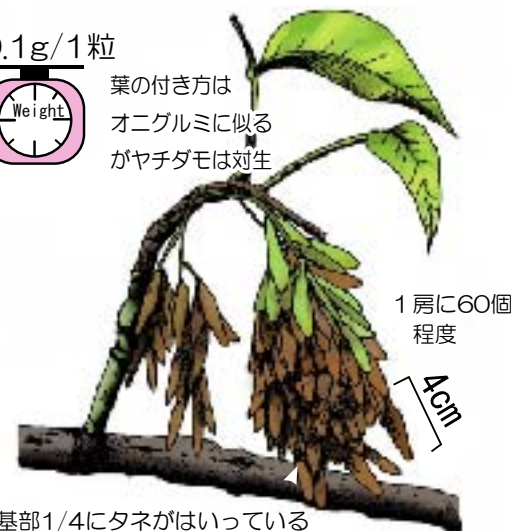
## ヤチダモ モクセイ科

はね付きタネのグループ

0.1g/1粒



葉の付き方は  
オニグルミに似る  
がヤチダモは対生



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の变化

タネの取り頃 緑 → 黄色 → 茶色

8月には緑色のタネが目立ち始めます。9月以降、黄色から茶色になって、はねが乾燥したらちょうど取り頃です。

### タネの取り方

枝を引き寄せて房ごと手でつまみ取ります。脚立で高い枝のタネを取ります。地面に落ちたタネは掃き取りや拾い取りします。

### 木の特徴

ヤチダモは高さ30mにもなる大木です。少し湿った谷地に生育します。雌雄異株なので、雌の木にしかタネはつきません。

### タネを蒔く 中量級

タネはそのまま蒔くことができます。発芽までに2年を要するので、1年目で発芽しなくても心配ありません。羽の基部が盛り上がり、タネが入っていることを確認してください。



8月下旬でもたくさんタネは落ちます。早めに落ちたタネは基部にタネが詰まっていない場合があります。



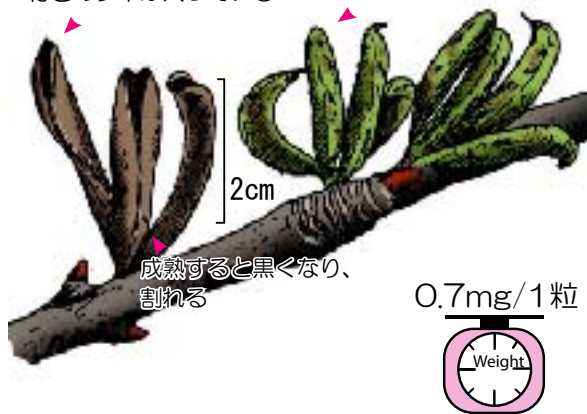
# カツラ

カツラ科

さや入りタネのグループ

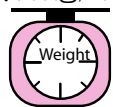
1つのさやの中に  
20~30粒のはね  
付きのタネが入っている

さやは直接小枝に  
付いている



成熟すると黒くなり、  
割れる

0.7mg/1粒



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



とり頃

9月頃はまださやが緑色ですが、10月に入ると、さやが黒くなり割れてきます。さやが黒く割れたら取り頃です。

## タネの取り方

高い木なので、高枝バサミが必要です。タネをたくさんつけた小枝ごと切り落とします。少量ならば、拾い取りもできます。

## 木の特徴

高さ20~30mになる高木です。円に近い丸い葉が特徴で、風になびいて揺れます。沢沿いの斜面などに生育します。雄株と雌株があり、タネは雌株にしか付きません。

## タネを蒔く

軽量級

さやを乾燥させたら、袋や箱に入れて揺すぶり、タネを取り出します。取り出しにくい時は、袋に入れて木槌等で叩きます。



さやが緑色だと、タネも熟していない場合があります。黒く割れたさやからタネを出してください。

# ハシドイ

モクセイ科

さや入りタネのグループ

さやは上向き



さやの中に膜付きの  
タネが2枚程度入っ  
ている

17mg/1粒



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



とり頃

9月には緑だったさやも、茶色く乾燥してきますが、1房の内半分以上のさやが茶色くなり割れてきたら取り頃です。

## タネの取り方

低い枝についたタネを引き寄せて、つま取ります。高い場所のタネは脚立や高枝切りバサミで取ります。

## 木の特徴

高さ10m程度の亜高木です。街路樹に多く、夏にはクリーム色の細かい花を密につけます。

## タネを蒔く

中量級

さやごと取ったタネは、袋や箱の中で叩いたり、揺すぶったりして、タネだけを取り出してから蒔きます。



芽生えは翌年8月~9月で、他の木よりも少し遅れます。タネがさやからはずれにくい時は、数日乾燥後、ザルなどで擦ってください。

# イヌエンジュ マメ科

さや入りタネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



9月には一部が落ち始めますが、10月に入って、さやが茶色く乾燥して、中のタネが焦茶色になり堅くなったら取り頃です。

## タネの取り方

下草がない場所では、拾い取りや掃き取りができます。下草が多い場所では、高枝バサミで、房ごと切り落としてください。

## 木の特徴

高さ15mになる高木で、街路樹などに多い種類です。葉の細毛が白銀色なので目立ちます。

## タネを蒔く 中量級

さやが茶色く乾燥してから、さやごと採取します。さやをザル上で擦り、タネだけを取り出します。虫食いが多いので、1夜水につけておきます。水に沈んだタネだけを蒔きます。



たくさん取る前に、さやの中のタネが茶色く堅くなっていることを確認して下さい。緑や黄色の柔らかいタネはまだ早いです。真冬でも取れます。慌てなくても大丈夫。

# ミツバウツギ ミツバウツギ科

さや入りタネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

## タネの取り頃



9月になると緑のさやがだんだん乾燥してきます。さやが乾燥するか、焦茶色になった時期が取り頃です。

## タネの取り方

低い木なので道具は不要です。ぶら下がったタネをさやごとつまみ取ります。枝を下から眺めた方が見つけやすいです。

## 木の特徴

高さ2〜4m程度の低木です。林縁部よりも林の中によく生育しています。3葉からなる複葉と、角のついたさやが特徴です。

## タネを蒔く 中量級

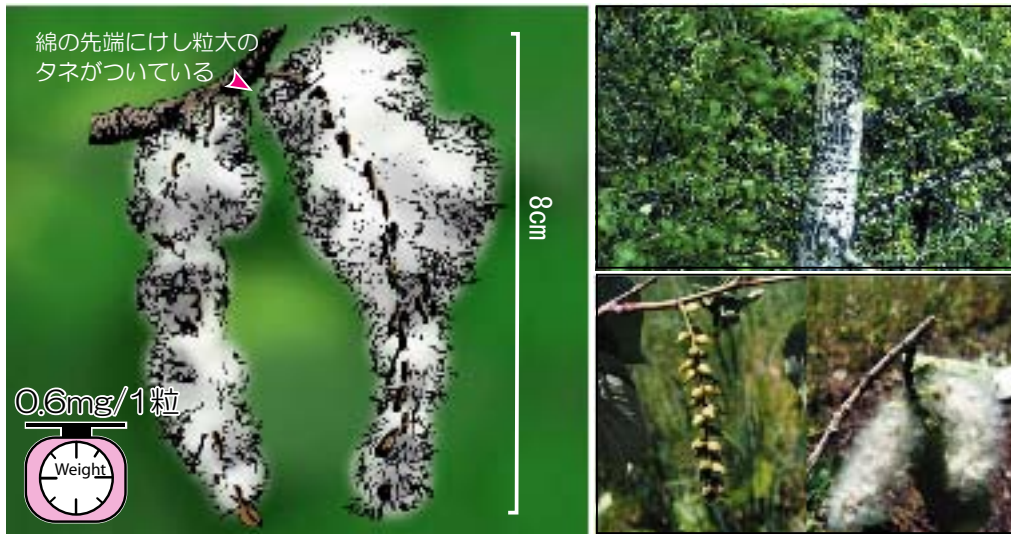
さやを乾燥させて、ザルなどで擦り、薄茶色のタネだけを取り出して蒔きます。播種した次の年に発芽します。



さや入りタネは、ある程度乾燥させなければ、うまくさやから出てきません。数日間陰干ししてから、タネを出しましょう。



# ドロノキ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化  
緑 → 茶  
とり頃

ドロノキは5月中旬に緑の実をぶら下げます。6月上旬頃から緑の実が乾燥し、裂開した実から綿が飛び出す時期がベスト。

## タネの取り方

低くはった枝から、房ごとつま取ります。高い枝のタネは高枝バサミで房ごと切り落とします。

## 木の特徴

高さ30mになる高木です。白っぽくなめらかな樹皮が特徴ですが、生長した木では高い部分のみがそうなります。河川敷に多く、6月頃綿付きタネを飛ばします。

## タネを蒔く 軽量級

取った房を陰干しすると、綿がふくらみ、フサフサになります。軸や袋果をある程度取り除き箱に蒔きます。綿は飛びやすいので、屋内作業をお勧めします。



1週間以内で発芽しますが、発芽するまで頻繁に水をやってください。

# アテンションプリーズ！

## ヤナギのさし木

ヤナギの仲間さし木でも活着することが知られています。さし木とは、切った枝を地面にさして、木を増やす方法のことです。



ヤナギのさし木

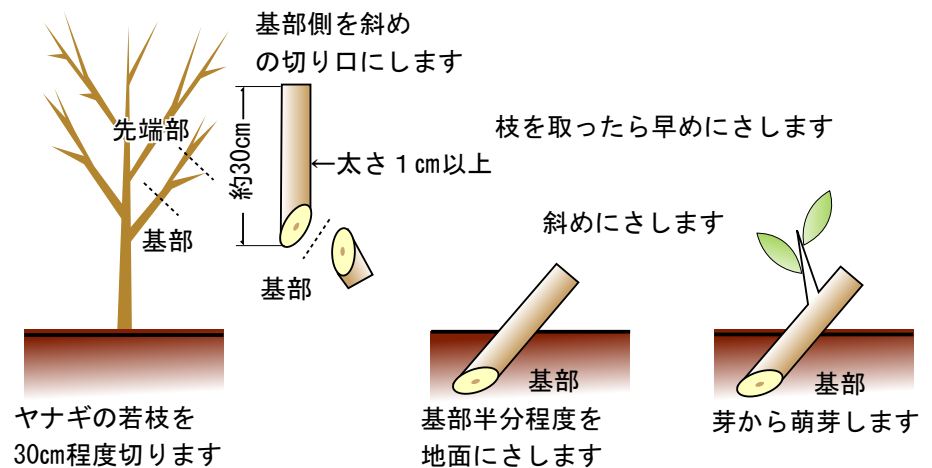


エゾノウワミズザクラのさし木

この方法はヤナギ以外に、サクラ類などでも応用できますが、ヤナギ類が最も活着が良く容易です。

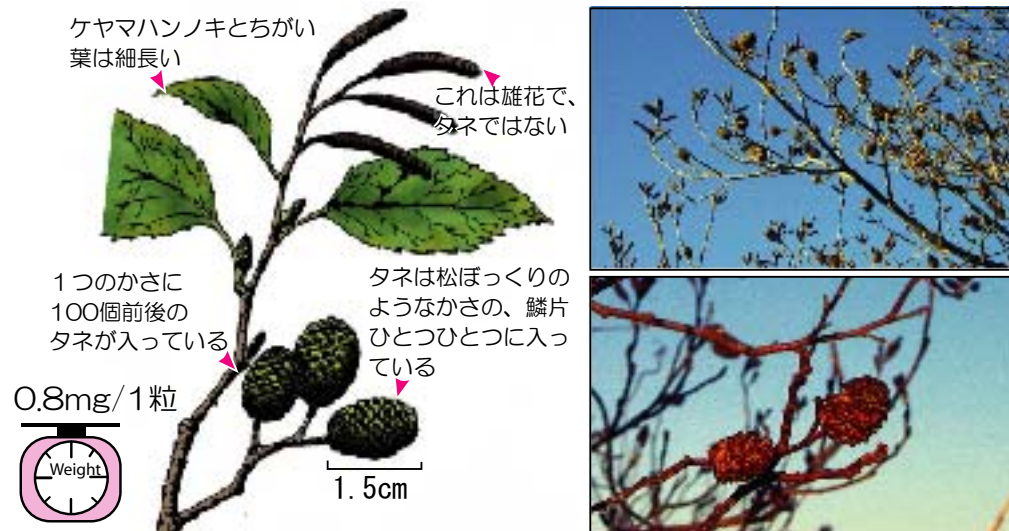
さし木に使う枝は直径1cm以上の手頃な太さで、あおく若い枝が良いです。枝は30cm内外で取って、基部側の切り口を斜めに切ります。後は枝の半分程度が地下部になるくらいに地面にさします。必ず基部側を下にさしてください。

さす時期は、葉のない時期が良く、晩秋や早春が最も良い時期です。



# ハンノキ カバノキ科

かさ入りタネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の变化

## タネの取り頃

緑 → 半黒 → 黒  
とり頃

9月上旬はまだ、堅く閉じた緑のかさです。半が黒くなり出し、かさが開いてきたら取り頃です。

## タネの取り方

低い枝のタネは枝を引き寄せて、かさごとつま取ります。下草がない場所では拾い取り、高い所は高枝バサミでかさを多くつけた枝ごと切り落とします。

## 木の特徴

高さ20mになる高木です。湿地などに多く生育し、十勝では豊頃や浦幌など下流域でよく見かけます。5m程度の高さでもタネをつけ、ケヤマハンノキより細長い葉をつけます。

## タネを蒔く 軽量級

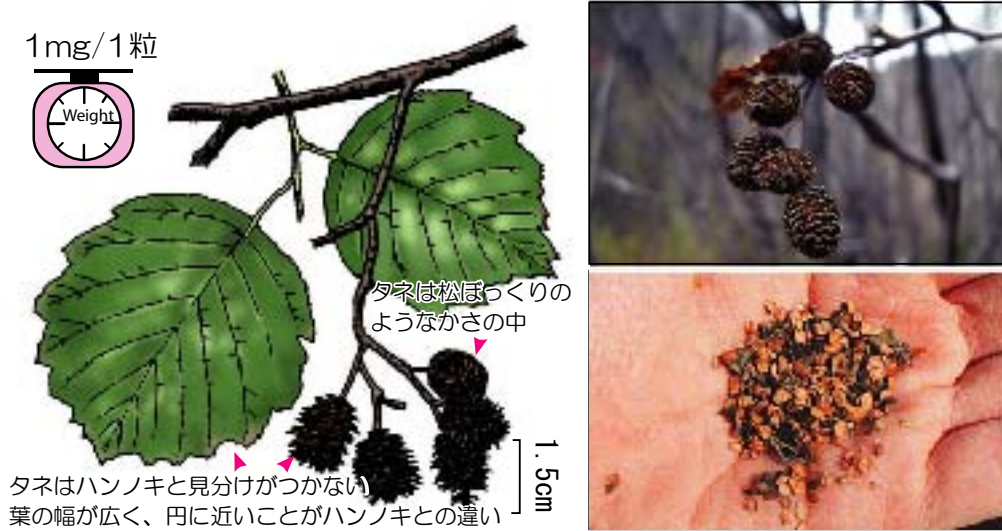
新聞紙などを敷いて、陰干しすると、タネが落ちてきます。残ったかさはザルなどで擦れば、さらにタネが落ちてきます。



緑の堅いかさと、黒く開いたかさは、1本の枝に混在します。つま取るときは、黒いものを選んで取りましょう。

# ケヤマハンノキ カバノキ科

かさ入りタネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の变化

## タネの取り頃

緑 → 半黒 → 黒  
とり頃

10月に入って、かさが黒く開いたものについては、取り頃ですが、緑で堅いものはまだ早いです。

## タネの取り方

低い枝についたタネはつま取ります。高い所のタネは、拾い取り、高枝バサミ取りでとりまします。半黒から黒いかさを選びまします。

## 木の特徴

高さ20mになる高木です。谷地になっている水辺や、砂利質の河原などに生育します。十勝では中流から上流域に多く、ヤナギに負けない早さで初期生長します。

## タネを蒔く 軽量級

陰干した後に、ザルで擦るとさやに入ったタネが取り出せます。軽く一握りのタネを箱にまんべんなく蒔きます。



かさごと蒔くと、タネの多くはかさに入ったままで、発芽しません。タネはかさから取りだしましょう。



# サワシバ

カバノキ科

棒状タネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の变化

## タネの取り頃

緑 → 肌色 → 茶色  
とり頃

8月には緑色した棒状の穂がぶら下がりますが、穂が乾燥して肌色から茶色に色づく時期がベストです。

## タネの取り方

低い枝はそのまま穂ごとつま取ります。脚立があると、よりたくさん取れます。落ちた鱗片は掃き取れます。

## 木の特徴

高さ10m程度の亜高木で、谷沿いの斜面に多い木です。林縁よりも林内によく生育します。

## タネを蒔く 中量級

乾燥した穂をザルなどで擦り、鱗片基部に入っているタネだけを取りだして蒔きます。発芽は1～2年後です。

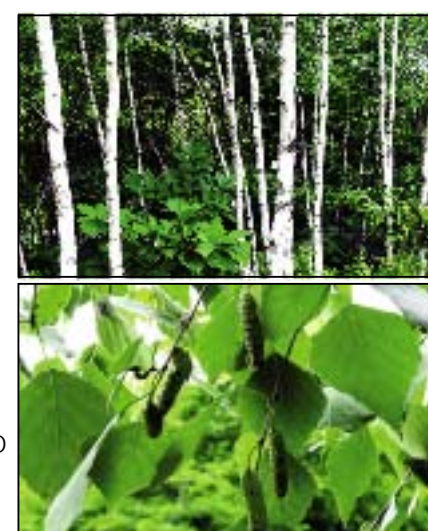
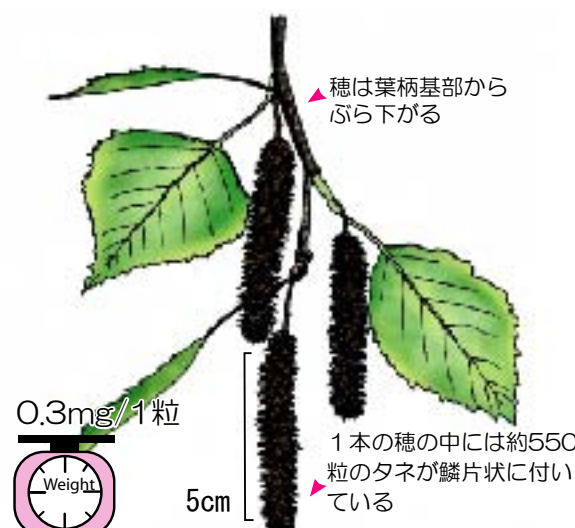


穂には細毛が生え、素手で穂を扱うとチクチクして痛くなります。革かゴム製の手袋は必需品です。タネは何度も擦らないとうまくとれません。

# シラカンバ

カバノキ科

棒状タネのグループ



## タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の变化

## タネの取り頃

緑 → 茶色  
とり頃

9月中旬になると、穂が緑から茶色に変わり、乾燥してきます。軽くふれただけで、タネがパラパラ落ちる位が取り頃。

## タネの取り方

低い枝にタネが付く場合が少ないので、高枝バサミで、穂がたくさんついている枝を切り落とします。

## 木の特徴

高さ20m以上になる高木です。白く薄くむける樹皮は、他の木と容易に見分けることができます。日当たりの良い砂利原などに生育します。

## タネを蒔く 軽量級

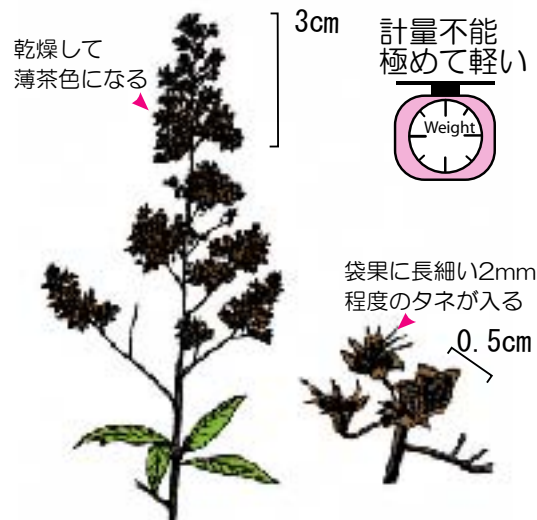
穂ごと取ったタネは、軸をしごいてタネをバラバラにしてから蒔きます。



少量にみえても粒数はかなりあるので、1箱に蒔きすぎると、ポットへ移す作業が大変です。木によって、タネが成熟する時期が大きく異なります。それぞれの木に合った時期に取りましょう。

## ■ ホザキシモツケ バラ科

その他のグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃



7月にピンク色の花をつけます。花が終わると穂が乾燥し、茶色の袋状の実が開いたら取り頃です。

### タネの取り方

人の背と同じか低い位なので、道具は不要です。先端の乾燥した穂を軸にそってしごいて、袋果と中のタネを一緒に取ってしまします。

### 木の特徴

高さ1～2mの低木です。低い木なので、草のような印象があります。日当たりのよい林縁や草地に群生します。夏の暑い時期にピンクの花が咲きます。

### タネを蒔く 軽量級

乾燥した袋果をザルなどで擦り、細かい粉末状にします。袋果の粉末とタネの粉末は極めて軽いので、この状態からタネを取り出すのは不可能です。擦った粉末ごと箱に蒔きましょう。



粉末の中で長さ2mm程度の線状の粉が混ざっています。それがタネです。

## ■ ノリウツギ ユキノシタ科

その他のグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

タネ色の変化

### タネの取り頃



7～9月の花期が終わると、小さな卵状の実をたくさんつけます。この実が赤から乾燥して茶色に変色した時期が取り頃。

### タネの取り方

乾燥した実を房ごと取るか、房の軸にそってしごき取ります。低い木なので、道具は不要です。乾燥したものを選んで取ります。

### 木の特徴

高さ3～5mの低木です。夏にアジサイに似たクリーム色の花が咲きます。草原や道ばたなどに生育します。

### タネを蒔く 軽量級

房や細かい軸をしごいて、乾燥した実とタネだけにします。それをザルなどで擦り、細かい粉末状にします。これ以上分けるのは不可能なので、この粉末ごと箱に蒔きます。

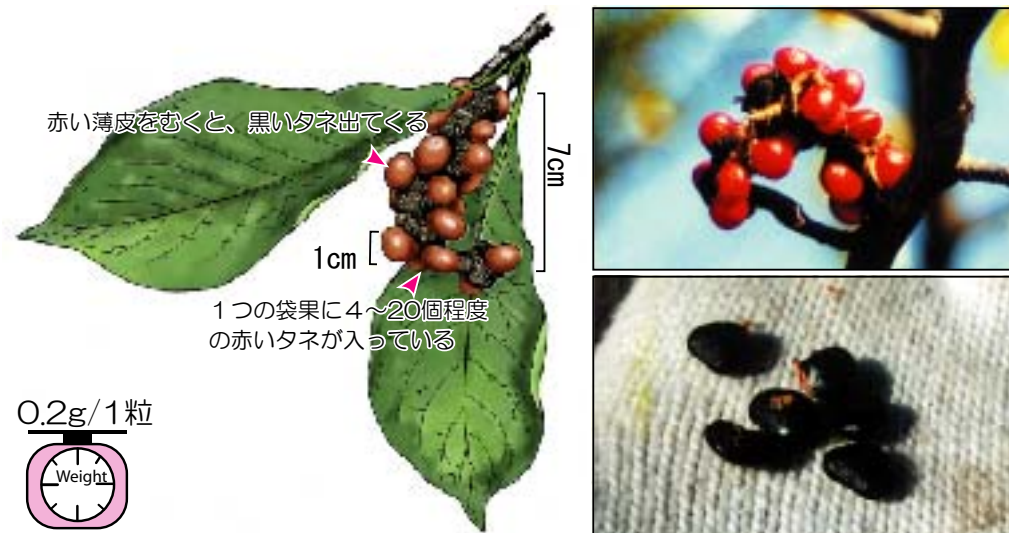


粉末に含まれる3mm程度の線状の粉がタネです。



## ■ キタヨブシ モクレン科

その他のグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

### タネの取り頃



9月には枝に赤いボコボコした袋果がつき、10月になると袋果が焦茶になり、中から赤いタネが出てきたら取り頃です。

### タネの取り方

脚立や台に立って、袋果ごとつまみ取ります。下草の少ない場所では袋果ごと拾い取りします。

### 木の特徴

高さ20mになる高木です。サクラよりも早い時期に白い大きな花を咲かせます。自然下では段丘の斜面や沢沿いに生育します。庭木や公園樹に多く用いられます。

### タネを蒔く 中量級

袋果から赤いタネを取りだし、木綿袋に入れて、足で踏みつけます。赤い薄皮がある程度むけて、黒いタネが出てきたら、箱に蒔きます。

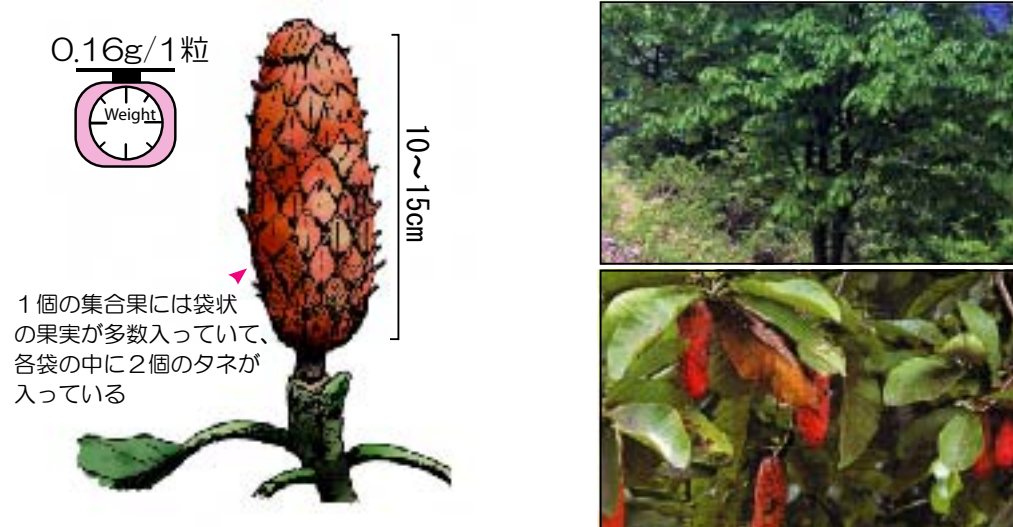


赤い薄皮を完全に取り除くのは困難です。ある程度むけたら良しとしましょう。

## ■ ホオノキ モクレン科

モクレン科

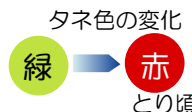
その他のグループ



### タネの時期

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

### タネの取り頃



9月頃から枝先の楕円形をした集合果が目立ち始め、10月に入ると赤く色づき、裂開します。この時期が取り頃です。

### タネの取り方

低くはった枝についた集合果を、高枝バサミで切り落とすか、下草のすくない場所で、集合果を拾い取りします。

### 木の特徴

高さ20mになる高木です。6月には葉の付け根から大きな白い花を咲かせます。

### タネを蒔く 中量級

集合果を陰干しして乾燥させ、手で集合果を砕きながら、中から赤褐色の1cm程度のタネを取り出します。薄皮が付いていたら、袋に入れて踏み、皮を取り除きます。その後水に入れ、沈んだタネのみ蒔きます。



集合果がある程度乾燥していないと、中からタネを取り出しにくい場合があります。陰干しして乾燥させましょう。



## 雑樹帳さつきちょう

### 親木の作戦—タネの重さや形—

親木の下に落ちたタネは、大きく成長することができません。親木の下では目陰になり、水分や栄養分も取られてしまうからです。自分の子どもが元気に育つためにはタネを遠く離れた場所に落とす必要があるのです。

親木はまず、重力、風、水など、自然の力を利用してタネを移動させるようになりました。風によって遠くまで飛んでいけるように、軽くて薄いタネ（軽量級）ができました。また、すぐに落ちてしまわないように、長い毛や広い翼を持ったタネ（綿付き、はね付き）ができました。

地球上に哺乳類や鳥類がすむようになってからは、これらの動物に、栄養のつまった大きなタネ（中・重量級）を運んでもらえるようになりました。好んで食べてもらえるように目立つ色のおいしい果肉をつけるようになりました。動物の体と共に移動して、糞として落としてもらうのです。また、ぎっしりと身のつまったおいしいタネ（ドングリ・クルミ）をつくり、冬の食料として運んで埋めてもらうようになりました。運よく動物たちが食べ忘れてくれた時には春に芽を出すことができるのです。

それぞれのタネの形には、親木のどんな作戦が隠されているのでしょうか。ぜひ考えてみてください。

風によって飛ぶタネ

ハルニシ・シラカンバ

ケヤマハンノキ・イタヤカエデなど

動物に運んでもらうタネ

食べてもらうタネ

エゾヤマザクラ・ミズキ・キハダなど

埋めてもらうタネ

## ■ タネのまき方 ■





## タネ蒔きの材料

自然の中ではタネはそのまま地面に落ちて育ちますが、治水の杜ではまず苗木を作ってから植樹します。種のままくと、風に飛ばされたり、鳥や動物に食べられたりする場合もあります。

### タネの下処理

- ① ドングリのなかま（カシワ・ミズナラ）  
一晩水につけておく 虫を追い出し、浮いたタネをとりのぞきます。
- ② くだもののなかま（サクラ・マユミなど）  
ふくろに入れてふむ そのあと、ふるいに入れて水洗いします。
- ③ かたいカサツキのタネ（ハンノキ・ケヤマハンノキなど）  
日に当てて乾かし、箱に入れてはげしくふる あとでふるいます。
- ④ クルミ  
土にうめる タネのまわりをくさらせて取りのぞきます。

### 用意するもの

- ① 土（腐葉土・赤玉土・火山礫を1：1：3に混ぜる）



② 発砲スチロール箱

水抜き穴をあける



- ③ 水ゴケ（ふるいでこすって粉にする）



- ④ ビニールポット（9cm）



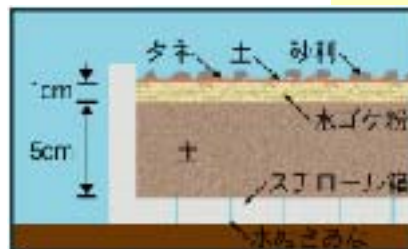
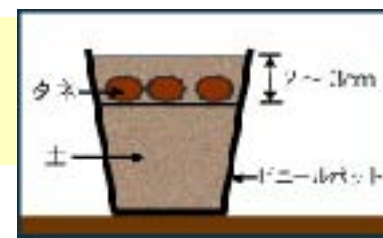
- ⑤ 砂利（10～30mm）

## タネの蒔き方

準備ができたらいよいよタネまきです。タネは重さによって各種を重量級・中量級・軽量級に分けます。重量級はビニールポットに直接まき、中量級と軽量級は発砲スチロールの箱にまきます。

### 苗床づくり

- ① 重量級のタネ（1g以上）  
直接ビニールポットにまく  
（オニグルミ・カシワ・ミズナラ）  
（1ポットあたりドングリなら5個、クルミなら2～3個植えましょう）



（タネは土が見え隠りするくらいの量を均等に、重ならないようにまきましょう）

- ② 中量級のタネ（1mg以上1g未満）

水ゴケの粉をひく

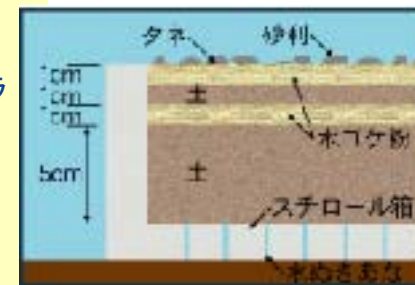
（ハルニレ・オヒョウ・ヤチダモ・イタヤカエデ・カラコギカエデ・クロビイタヤ・ツリバナ・マユミ・エゾノウワミズザクラ・キハダ・ミズキ・エゾニワトコ・ナナカマド・ハリギリ・ケヤマウコギ・ヤマグワ・イヌエンジュ・ハシドイ・ミツバウツギ・アズキナシ・エゾノコリンゴ・エゾヤマザクラ・サワシバ・キタコブシ・ホオノキ）

- ③ 軽量級のタネ（1mg未満）

水ゴケの粉を2層ひく

（タラノキ・ドロノキ・カツラ・シラカンバ・ハンノキ・ケヤマハンノキ・ホザキシモツケ・ノリウツギ）

（タネは軽く一握り程度の量を均等に、重ならないようにまきます。風で飛びやすいため注意しましょう。）



## タネの植え替え

ビニールポットや発泡スチロール箱にまいたタネは、早いもので数週間後、遅いもので2年後に発芽します。発泡スチロール箱にまいて発芽した苗は、5 cm程度に生長したら、ビニールポットに移します。



### 苗木の管理

タネをまいたビニールポットや発泡スチロールの箱は、必ず雨や雪がかぶる野外においてください。その他、手入れは特に必要ありません。晴天続きの時に水をやる程度です。

発泡スチロールの箱の苗木が5 cm程度に生長したら、土を入れたビニールポットに植え替えます。このとき、なるべく根をいためないように、5本を1束にして植え替えます。



### 苗木の植樹

育った苗木を植える場所には、あらかじめ砂利を敷いておきます。これは「マルチング」といって、雑草がはえるのを防いだり、地面が乾きづらくなるようにする役目を持っています。（詳しくは「森をつくろう・治水の杜ハンドブック」を参照して下さい）



さ

く

い

ん

あ

赤玉土 58  
アズキナシ 26  
イタヤカエデ 29, 38  
イヌエンジュ 29, 44  
植え替え 60  
エゾアカネズミ 19  
エゾニワトコ 25  
エゾノウワミズザクラ 20, 47  
エゾノコリンゴ 27  
エゾヤマザクラ 28  
エゾリス 19  
おいしいタネ 19  
オニグルミ 19, 34  
オヒョウ 37

か

かさ付きタネ 7  
火山れき 58  
果実 6  
カシワ 29, 32, 35  
カツラ 42  
カラコギカエデ 29, 39  
キタコブシ 54  
キハダ 24  
脚立 2  
くす玉状タネ 6  
クリ 35  
クルミ 6, 7, 34  
クロビイタヤ 29, 40

クワガタ 36  
軽量級のタネ 59  
ケヤマウコギ 17  
ケヤマハンノキ 29, 49  
コクワ 19

さ

サクランボ風タネ 6  
さし木 47  
さや入りタネ 7  
ザル 2  
サルナシ 19  
サワシバ 50  
重量級のタネ 59  
集合果実 6  
シラカバ 51  
シラカンバ 51

た

高枝切りバサミ 2  
タネ入れ袋 2  
タネとりの順序 3  
タネとりの準備 2  
タネとり場所 3  
タネの時期 4  
タネの下処理 58  
タラノキ 22  
中量級のタネ 59  
ツリバナ 31  
トチノキ 35



ドロノキ 46  
ドングリ 6, 7, 32, 35

**な** 苗木の管理 60  
苗床づくり 58, 59  
ナナカマド 21  
ニセアカシア 29  
ノリウツギ 53

**は** ハシドイ 43  
発泡スチロール箱 58, 60  
はね付きタネ 7  
ハリエンジュ 29  
ハリギリ 16  
ハルニレ 36, 37  
ハンノキ 29, 48  
ビニールポット 58, 60  
腐葉土 58  
分散果実 6  
棒状のタネ 7  
ホオノキ 55  
ホザキシモツケ 52

**ま** マユミ 30  
マルチング 60  
ミズキ 23  
水ゴケ 52  
ミズナラ 29, 33  
ミツバウツギ 45  
見分け方 29

**や** ヤチダモ 41  
ヤナギのさし木 47  
ヤナギ類 46, 47  
ヤマグワ 18, 19  
ヤマブドウ 19  
ヤマモミジ 29

**わ** 綿付きタネ 7

#### 【参 考 資 料】

石井英美ほか(2000)『山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花—離弁花①』 山と溪谷社

太田和夫ほか(2000)『山溪ハンディ図鑑4 樹に咲く花—離弁花②』 山と溪谷社

岡村邦俊(1998)『住民参加による自然林再生法—生態的混播法の理論と実践』

(財)石狩川振興財団

斉藤新一郎(2000)『木と動物の森づくり—樹木の種子散布作戦』 八坂書房

佐藤孝夫(1990)『北海道樹木図鑑』 亜細亜社

中山至大・井之口希秀・南谷忠志(2000)『日本植物種子図鑑』 東北大学出版会

福岡イト子(1995)『アイヌ植物誌』 草風館

#### ＜お問い合わせ＞

帯広開発建設部 治水課

Tel/0155-24-4105

帯広河川事務所

Tel/0155-25-1294

池田河川事務所

Tel/01557-2-2661

2002年3月発行